

ISFJ Inter-University Seminar for the Future of Japan

ISFJ2015 政策フォーラム活動報告書

文責:中間慎也

【日時】

2015年12月5日(土)、12月6日(日)

【会場】

12月5日: 明治大学駿河台キャンパス・
早稲田大学早稲田キャンパス・日本大学経済学部
12月6日: 明治大学駿河台キャンパス アカデミー
ホール



【参加】

23 大学 51 研究会 650 名 26 分科会 123 チーム

【概要】

政策フォーラムは2日間にわたり開催され、その中で

- ・ 全国の学生が立案した政策を社会に向けて広く深く発信していくこと
 - ・ 政策や社会に対して意識の高い学生一堂に会し、問題についての知識・考え方を共有すること
- の2点を目的として開催されました。

【企画内容】

1 日目となる研究会発表会では、パワーポイントを用いた各研究会の発表をおこないました。発表は問題意識の近いテーマを扱った研究会のチームを集めた分科会の中で行いました。プレゼンテーションは事前に提出された最終論文にのっとり、各研究会の約半年の研究の成果を披露しました。

2 日目は、一次論文審査・二次論文審査を通過した論文を、さらに特別論文審査委員会において審査し、それにより選出された5チームが決勝プレゼンテーションを行いました。この決勝プレゼンテーションにより、特別ゲストおよび参加者の投票から政策提言賞が選出されました。また、一次論文審査及び1日目の分科会発表で高い評価を得た研究会のチームには分科会賞、また特別論文審査委員会によって選出された論文には優秀賞、そしてそのうち特に優れていると評価された論文には特別優秀賞が与えられました。

【責任者総評】

1 日目: 昨年度と同様、3会場にまたがる分割開催という形を取りました。36名に及ぶコメントーターの方々のご協力、また多くの参加者のご協力のおかげで大過なく終了することができました。各分科会の発表におきましても、プレゼンテーションスキルは年々向上しているとの評価をいただきました。論文の完成度に関しましては、多くは評価をいただいた。しかし、少数ではありますがコメントーター様から厳しいご意見もいただきました。この点は我々の今後の課題であると考えております。また、論文審査においては169名の方にご協力いただきましたのおかげで、より公平な審査が行えたのではないかと考えております。コメントーターの方

による熱心なご講評により、参加者にとって今後の研究の指針になったのではないかと考えております。

2日目：特別論文審査委員会において選出された5チームによる決勝プレゼンテーションが行われ、大阪大学赤井伸郎研究会が政策提言賞を受賞しました。いずれのチームのプレゼンテーションもとてもレベルが高く、発表者と参加者が問題に対する意識を共有できたのではないかと考えております。ゲストの方からは丁寧かつ具体的なお講評をいただき、参加者にとっても非常に有意義なものでありました。

2日間を通じて、各研究会、参加者が問題を共有し、日本の現状を考える機会となるようなイベントが開催できたと思っております。今後は政策フォーラムにとどまることなく、より一層ISFJ日本政策学生会議の活動が深まることを願っております。

【結果】

最優秀賞

- ・大阪大学赤井研究会榊原班「環境不動産の普及に向けて・自治体版CASBEEを用いた実証分析」

優秀賞

- ・大阪大学後藤研究会鳩班「労働者のメンタルヘルス向上を目指して」
- ・大阪大学赤井研究会村上班「介護予防の有効な促進政策」
- ・慶應義塾大学土居研究会四方班「稼ぎ方に中立な所得税制の構築」
- ・上智大学釜賀研究会永田班「子供の貧困問題解決に向けて」

政策提言賞

- ・大阪大学赤井研究会榊原班「環境不動産の普及に向けて・自治体版CASBEEを用いた実証分析」

分科会賞

医療介護①：京都産業大学福井研究会柚木班「健康増進及び健康寿命延伸による経済効果」

医療介護②：創価大学高橋研究会岡崎班「広域連携を考慮したドクターヘリ最適配置」

医療介護③：慶應義塾大学山田研究会北班「介護サービスの需給ギャップの解決策」

環境エネルギー：南山大学鶴見研究会武田班「再生可能エネルギー普及政策」

教育①：南山大学水落研究会久野班「小学生の学力向上の規定要因」

教育②：慶應義塾大学山田研究会今井班「現行奨学金制度が社会保障としての役割を果たすために」

金融①：創価大学高橋研究会新久班「異次元金融緩和の出口戦略」

金融②：日本大学鶴田研究会佐々木班「為替変動はどのような企業に影響を与えるか？」

行政：大阪大学後藤研究会梶芳班「奨学金返還延滞問題解決を目指して」

国際：神戸大学石黒研究会堂本班「日本のODAとNGOの連携によるカンボジアの貧困削減」

財政①：慶應義塾大学寺井研究会阿部班「道路投資に関する効率的資源配分制度について」

財政②：日本大学豊福研究会野口班「医療機器の先行投資による国民医療費の削減」

産業：名古屋市立大学板倉研究会石上班「国家戦略としての航空機関連産業」

社会保障①：明治大学齋藤研究会中村班「母子世帯の慢性的貧困についての考察」

社会保障②：大阪大学後藤研究会小田班「子育て環境の充実と住まいに関する一考」

社会保障③：京都産業大学福井研究会西岡班「2025年以降を見据えた医療・介護・保育における施設・職員の確保」

地方政策①：慶應義塾大学土居研究会細見班「広域連携による公共財供給の効率化」

地方政策②：慶應義塾大学樋口研究会佐藤班「都市のコンパクト化促進について」

都市交通①：早稲田大学須賀研究会齋藤班「連携中枢都市の中心市街地におけるLRT導入による経済効果」

都市交通②：関西学院大学栗田研究会中島班「防災における自助・共助意識の醸成とその要因」

都市交通③：慶應義塾大学樋口研究会原田班「2020年東京オリンピックにおける観光政策」

農林水産：上智大学釜賀研究会吉沢班「飼料用米の生産促進に向けて」

労働雇用①：京都大学岩本研究会武本班「家事支援サービス利用促進による女性労働供給の拡充」

労働雇用②：慶應義塾大学山田研究会玉井班「『うつ病』予備軍の労働者を減らすために」

労働雇用③：甲南大学倉本研究会濱田班「男性従業員の育児休業取得は企業にメリットをもたらすか」

労働雇用④：早稲田大学須賀研究会和泉班「年次有給休暇取得の阻害要因に関する実証分析」